

第169回防衛調達審議会議事要旨

1 日時

令和3年4月21日（水）10時00分～11時15分

2 場所

防衛省庁舎A棟2階講堂

3 出席者

（委員）

河村会長、藤川会長代理、片岡委員、柴山委員、西谷委員、林委員、星委員

（防衛省）

防衛装備庁 宮本長官官房審議官、青柳装備政策部長、内藤調達管理部長、小野調達事業部長、関監察監査・評価官（事務局）

金刺統幕首席後方補給官、陸幕装備計画部長代理装備計画課補給管理班長、今吉海幕装備計画部長、空幕装備計画部長代理整備補給課輸送補給室長

4 議題

- （1）令和2年度防衛調達審議会活動概要報告
- （2）サプライチェーンの維持・強化
- （3）サンプリング調査審議のフォローアップ
- （4）令和3年度防衛調達審議会開催計画の見直し
- （5）次回の日程等

5 議事概要

（1）令和2年度防衛調達審議会活動概要報告

令和2年度防衛調達審議会活動概要について事務局から報告、了承された。

（2）サプライチェーンの維持・強化

防衛産業のサプライチェーンの維持・強化に関する取組みについて、防衛装備庁装備政策部装備政策課から説明を行った。

(3) サンプル調査審議のフォローアップ

【イージス武器システム国内技術支援】(第165回海上自衛隊)

フォローアップ事項

- ・ 本件及び過年度契約での、契約金額の内訳及び内訳費目の変動理由、本件と内容が類似すると例示した契約の違いについて説明されたい。また、資本関係及び外注率が分かる資料を提出されたい。

(資料に基づき説明)

委：審議会としては、個別案件の担当者が、過年度を含めた審議対象案件と同様の契約との差異を把握できているかを確認したいので、今後は審議当初から差異が分かる資料を提出してほしい。

防：承知した。

【施設作業車“オーバーホール”】(第166回陸上自衛隊)

フォローアップ事項

- ・ 工場管理費について、前の契約相手方では加工費率に含んで回収しており、他方、本件契約相手方では工場管理費として項目立てしているとのことであるが、相互に整合性はあるのか。
- ・ 熟練工が1/3に減少して工数が1割増となったことを「過剰ではない」と説明した根拠を、過去の実績と照らし合わせて説明してほしい。
- ・ 下請負企業は工数の逡減を見積上織り込んでいるようであるが、官側の工数の逡減の考え方を示してほしい。

(資料に基づき説明)

委：熟練工の減少による工数増の適正性については、事業が始まってから工場移転前までに習熟した工数と、工場移転で習熟度合が振り出しに戻ったことで増加する工数が同等でないと適切ではない、と考えるが如何か。

防：移転前と後の工場では設備が異なるため、熟練工の減少のみが工数に影響したとは言えない。

委：熟練工減少以外に設備変更で工数が増加したということか。

防：そのとおり。

委：これまで参加した審議では、オーバーホールでは逡減を見込めない、と説明をうける機会が多かったと記憶している。他方、本件下請け企業は工数逡減を見込んでおり、実際に逡減しているが、どのような要因があるか。

防：同様の車両を複数台納入しているため、と考える。

(4) 令和3年度防衛調達審議会開催計画の見直し

令和3年度防衛調達審議会開催計画見直し案について、事務局から説明、了承された。

(5) 次回の日程等

次回は5月26日(水)の開催の予定。詳細については、事務局から後日連絡。